

もとぎりかせ  
元伐稼ぎ — 杣の道具展

そまし  
杣氏たちの生業と知恵  
なりわい  
ちえ

飛騨が幕府直轄地となった理由のひとつは 豊富な森林資源があったからと言われています。  
御林山元伐は それ以前の金森藩時代から藩財政を潤す大きな収入源であり、  
それぞれの谷筋で組織された元伐・運材が行われていました。  
徳川幕府(高山陣屋)もそれを踏襲する形で、  
明和9年(1772年)の元伐休止まで元伐施策が続けられました。  
金森藩の時代は樽板が、  
幕府直轄時代は樽木が年貢として納められていたと記録に残っています。  
企画展では 元伐・樽板の過程で使われた道具に焦点を当て、  
飛騨の杣氏たちの生業と知恵を明らかにします。



▲ 「官材画譜」 (出展：国立国会図書館デジタルコレクション)



▲ 高山陣屋 (御役所)



▲ 杣の道具 (大鋸)

◆日時 令和7年

10/18 (土) ~ 11/17 (月) ※臨時休館日  
8:45~17:00 ※11月は 8:45~16:30  
を除く

◆会場

高山陣屋 三番蔵 (高山市八軒町1-5)

※通常の入場料 (440円・高校生以下無料) にて見学可能です

主催：高山陣屋管理事務所

◆問い合わせ先  
高山陣屋管理事務所  
電話 0577-32-0643